

競技注意事項

1. 大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則により行う。

また、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、日本陸連の陸上競技活動再開のガイダンス及び福岡陸協の競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを基に競技会を運営する。

2. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック	競技開始 30分前	競技開始 15分前
跳躍種目・砲丸投	競技開始 60分前	競技開始 40分前
円盤投・ハンマー投・やり投・ジャベリックスロー	競技開始 75分前	競技開始 60分前

① 招集所は、本競技場正面玄関横に設ける。

② リレーのオーダー用紙は各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

3. スパイクは平行ピンとする。長さは9mm以下とし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

4. 下記に記載した種目については制限時間を設ける。スタート後に制限時間を経過した場合は、競技を打ち切るので審判員の指示に従い速やかにレースを中止すること。

U18男子5000mW・・・35分00秒

U18女子5000mW・・・35分00秒

5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

U18男子走高跳	練習 1m75	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	1m99	以降3cm～
U18女子走高跳	練習 1m45・1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	以降3cm～
U16男子走高跳	練習 1m60	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以降3cm～
U16女子走高跳	練習 1m40・1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以降3cm～
U18男子棒高跳	練習 3m40・4m40	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m50	以降10cm～
U18女子棒高跳	練習 2m40・3m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	以降10cm～
U16男子棒高跳	練習 2m40・3m00	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	以降10cm～
U16女子棒高跳	練習 2m00・2m40	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	以降10cm～

*気象状況等により変更することもある。

6. 三段跳の踏切板は砂場から次のように設置する。

U18男子：11m U18女子：9m U16男子：9m・11m（選手が選択する） U16女子：8m

7. 跳躍競技者・投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。

8. 道具の共用による感染リスクを下げるために、投てき種目の道具は各自で持参することが望ましい。

9. 投てき種目の練習は競技開始前に本競技場で行う。事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。

10. サブトラックでの投てき用具やボール等を使用する練習は禁止とする。

11. 投てき練習場の使用は不可とする。

12. 下記の種目については計測ラインを設け、それ未満の記録は測定しない。

U16男子ジャベリックスロー：30m

U16女子ジャベリックスロー：25m

13. 棄権をする選手は、必ず棄権届けを提出すること。

14. 全ての種目において選手変更はできない。

15. 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。

[個人情報の取り扱いについて]

16. 福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。

17. その他

- ・チェックシートの提出や回収は求めないが、体調チェックについては、大会に関わる全ての人が必ず実施すること。特にチーム監督や管理者は、確実に個々の選手の状況を把握し、責任をもって出場させること。

- ・競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。

- ・応援は拍手のみとし、声を出すことは禁止する。フィールド種目の応援についても、選手の掛け声に合わせて応援者が声を出すことは禁止とする。

- ・選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場をするようにし、ゴールエリアで休息等をしないこと。

- ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。（TR6.3.2）